

平成22年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

教育センター（電話：0857-28-2321）

8目 教育センター費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）高等学校等における不登校（傾向）生徒等支援事業	11,305	0	11,305			<諸収入> 25	11,280	
トータルコスト	22,600千円（前年度0千円）〔正職員：1.4人 非常勤職員：2.2人〕							
主な業務内容	適応指導教室の設置、不適応生徒等の実態把握							
工程表の政策目標(指標)	—							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

高校生及び概ね20歳くらいまでの青少年を対象とした適応指導教室を設置するとともに、不適応生徒等の実態把握の方法を普及し、不登校や中途退学の未然防止の早期対応を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
適応指導教室の設置	7,857	<p>適応指導教室を設置し、高等学校等における不登校、ひきこもり生徒等を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置場所：鳥取県教育センター内</li> <li>・対象者：高校生及び概ね20歳くらいまでの青少年</li> <li>・指導者：指導員2名及びカウンセラー1名</li> <li>・指導内容：適応指導、訪問相談、心理相談等</li> </ul>
不適応生徒等の実態把握調査	3,448	<p>不登校や中途退学の未然防止の早期対応を図るため、「楽しい学校生活を送るためのアンケート（hyper-QU）」及び「特別な支援を必要とする生徒を把握するための実態調査」を県立高等学校において実施する。</p> <p>【hyper-QUとは】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「学級満足度尺度」、「学校生活意欲尺度」及び「ソーシャルスキル尺度」で構成</li> <li>○学級集団における生徒の相対的位置がわかり、正確な実態把握が可能</li> <li>○不登校・いじめ・学級崩壊の予防、教育実践の効果測定に活用</li> </ul>

3 これまでの取組状況、改善点

平成19年度から平成21年度にかけて「ひきこもり（傾向）の生徒への支援に関する研究調査」を実施

- ひきこもり（傾向）の生徒や青少年の社会的自立を促すための支援のあり方を研究調査
  - ・平成20年度の相談実績：教育指導員・訪問相談員 540回、カウンセラー 123回
  - ・相談者に対して就労、進学や転学、アルバイト等、社会参加に向けた支援を行った。
  - ・平成21年度は、カウンセラーの相談時間を4時間から8時間に増やした。
- 不登校や中途退学の未然防止の取組のあり方を研究調査
  - ・県立高等学校8校においてQ-Uを実施し、各学校において不登校や中途退学の未然防止に役立てるとともに、効果のあった取組や事例を収集した。